保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FMクロックラジオ			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RAD-C867Z	品　番	07-3867	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　(　　)			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 印			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話料無料 0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付　平日 9：00〜17：30　土曜 9：00〜17：00　日曜・祝日及び年末年始は除きます

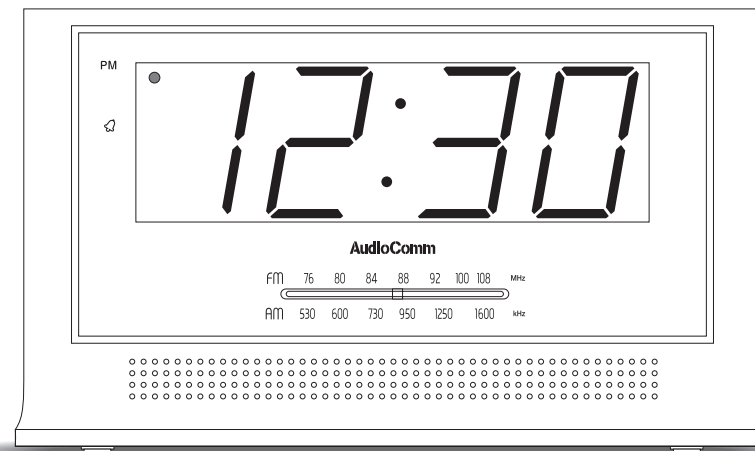
修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00〜17：00　土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-3867A

AudioComm®

取扱説明書　保証書付

AM/FMクロックラジオ

型番：RAD-C867Z　　品番：07-3867

このたびは、AudioComm® AM/FM クロックラジオをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

表示	意味
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

⚠警告

コンセントから抜く

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

コンセントから抜く

内部に異物を入れたり、水などをかけない。万一異物や水分が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く
- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●販売店にご連絡ください。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない
- ●火災・感電の原因となります。

禁止

表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない
- ●火災・感電の原因となります。

禁止

海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない
- ●火災の原因となります。
- ●この機器を使えるのは日本国内のみです。

接触禁止

雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない

禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
- ●コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止

本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない
- ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

使用を中止する

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する
- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●修理をご依頼ください。

乾電池に注意

乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする
- ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

禁止

電源コードを敷物などで覆わない
- ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

水かけ禁止

浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない
- ●火災や感電の危険があります。

⚠注意

禁止

調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない
- ●火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
- ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない
- ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
- ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

次ページに続く

⚠注意

禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。	アンテナをまとめる	**持ち運ぶときは、アンテナを壁から外し、まとめる** ●壁に留めたまま動かそうとすると、接続部の破損や壁面部の汚損につながります。
濡れ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。	コンセントから抜く	**移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
乾電池の極性に注意	**乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく接続する** ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
コンセントから抜く	**お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く** ●感電の原因となることがあります。	禁止	**電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
禁止	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。		

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに正しく接続する ・指定以外の乾電池を使用しない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

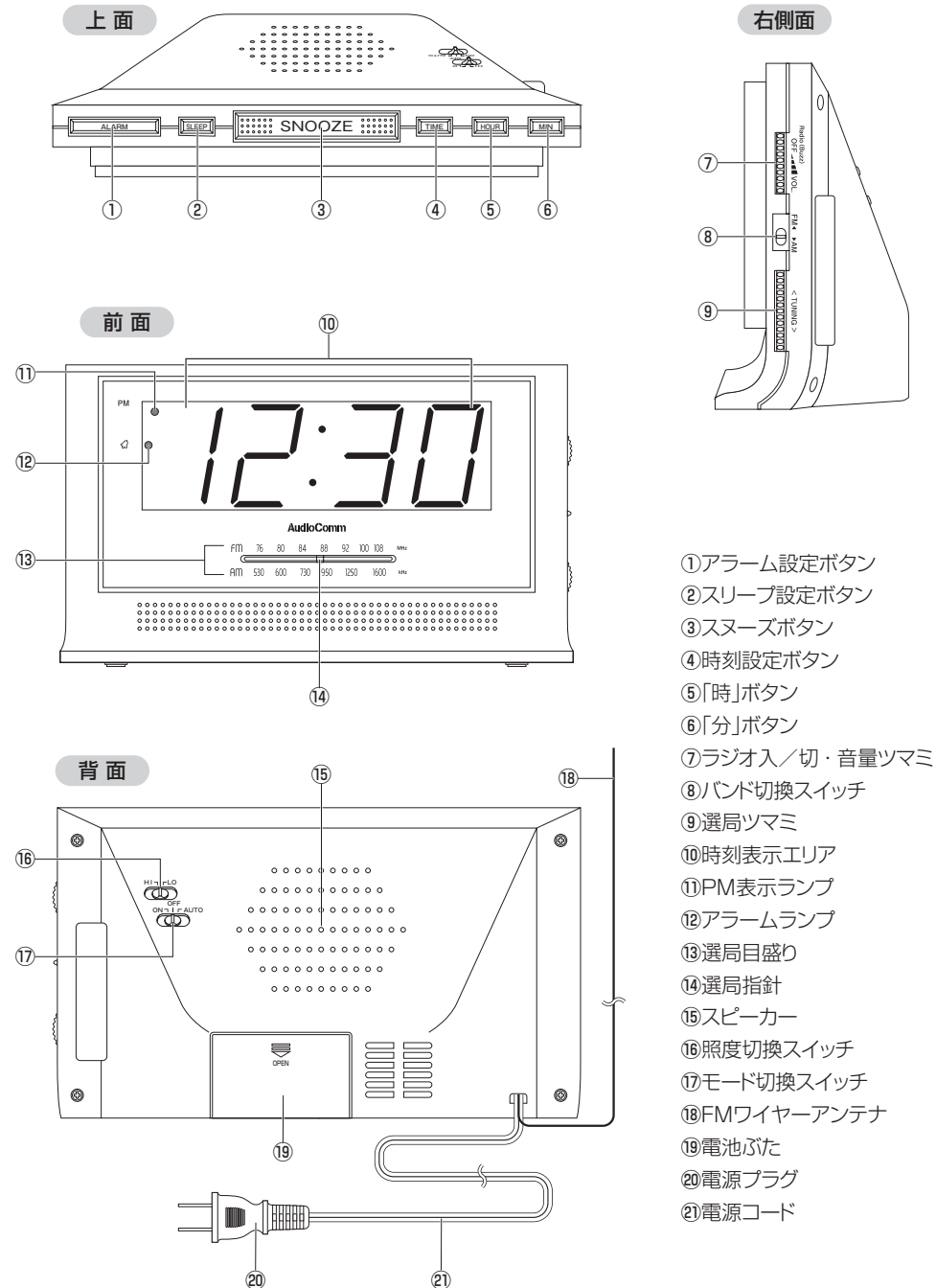
●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

上面

右側面

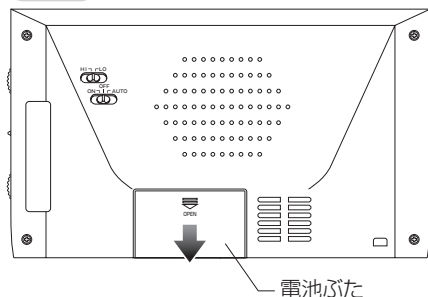
前面

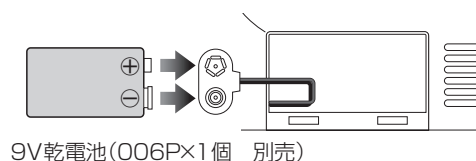
背面

①アラーム設定ボタン
②スリープ設定ボタン
③スヌーズボタン
④時刻設定ボタン
⑤「時」ボタン
⑥「分」ボタン
⑦ラジオ入／切・音量ツマミ
⑧バンド切換スイッチ
⑨選局ツマミ
⑩時刻表示エリア
⑪PM表示ランプ
⑫アラームランプ
⑬選局目盛り
⑭選局指針
⑮スピーカー
⑯照度切換スイッチ
⑰モード切換スイッチ
⑱FMワイヤーアンテナ
⑲電池ぶた
⑳電源プラグ
㉑電源コード

ご使用前の準備

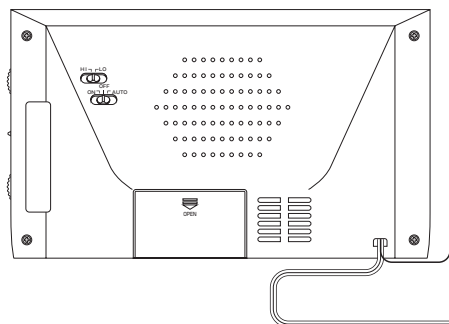
時計用バックアップ乾電池について

背 面

電池ぶた

時計用バックアップ乾電池を入れておくと、停電時でも時刻設定を保持します。
本機背面の電池ぶたを の方向にスライドさせて開け、⊕⊖の表示に注意しながら9V乾電池(006P×1個　別売)を接続してください。
※アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

9V乾電池(006P×1個　別売)

電源への接続

電源ラプグを抜き差しするときは、ラジオ入／切・音量ツマミをカチッと音がするまで上に回して、ラジオが切れている状態で行ってください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

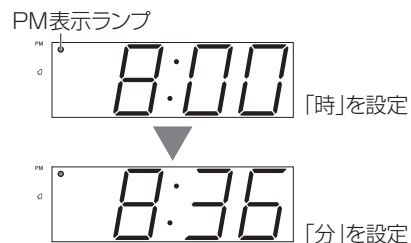
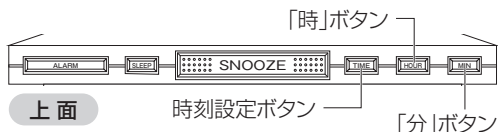
背 面

電源プラグを家庭用コンセントを接続します。
- ●電源プラグを接続すると時刻表示が点滅します。次項を参照して、現在の時刻を設定してください。
- ●本機を使用しないときは電源コードをコンセントから外してください。

電源プラグ

家庭用コンセント
(AC100V)

現在時刻の設定方法

「時」ボタン

上 面　　時刻設定ボタン　　「分」ボタン

PM表示ランプ

「時」を設定

「分」を設定

❶ 時刻設定ボタンを押しながら、「時」ボタンを数回押して、現在の「時」を設定します。
- ●「時」ボタンを長押しすると、順次数字が送られます。
- ●午後の時刻の場合はPM表示ランプが点灯します。

❷ 時刻設定ボタンを押しながら、「分」ボタンを数回押して、現在の「分」を設定します。
- ●「分」ボタンを長押しすると、順次数字が送られます。

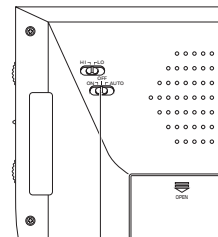
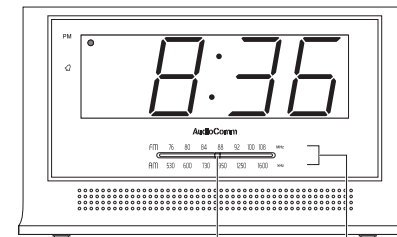
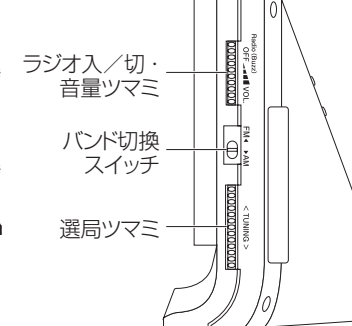
ラジオを聴く

背 面

モード切換スイッチ

前 面

選局指針　　選局目盛り

右側面

❶ モード切換スイッチがONの位置にあることを確認します。
OFF、AUTOの位置にあるときは、ラジオを聴くことができません(スリープ、アラーム有効時を除く)。

❷ ラジオ入／切・音量ツマミを下に回します。
カチッと音がしてラジオがオンになり、さらに回すと音量が上がります。

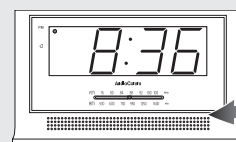
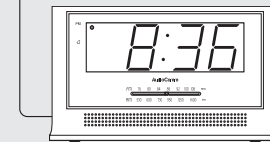
❸ バンド切換スイッチで、聴きたいバンドを選びます。

❹ 選局ツマミを回して聴きたい放送局を受信します。
- ●選局目盛りを参考にしながら、最も良く聴こえるように調節してください。
- ●本機はAM、FMともにモノラル音声出力となります。

❺ ラジオ入／切・音量ツマミで音量を調節します。
音量を大きくしすぎないようにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

❻ 終了するときは、ラジオ入／切・音量ツマミをカチッと音がするまで上に回します。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信
本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

●FM放送の受信
FMワイヤーアンテナを伸ばし、受信状態を確認しながら最も良く聴こえる位置に調節し、先端を壁などに軽く留めてください。

- ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。
- ●持ち運ぶときは、破損防止のため、FMワイヤーアンテナを壁などから外してまとめてください。

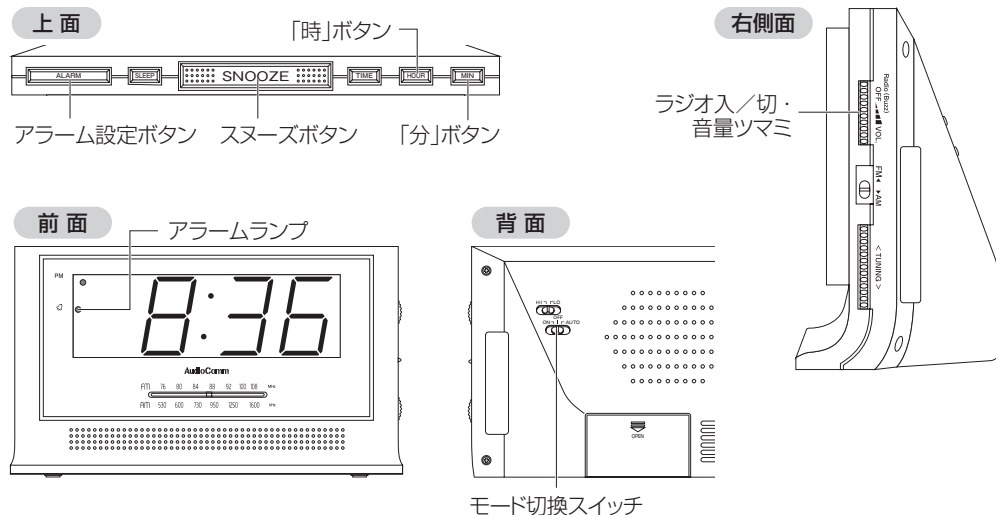
アラーム機能

上 面

右側面

ラジオ入／切・音量ツマミ

前 面

背 面

❶ アラーム設定ボタンを押しながら、「時」ボタンを数回押して、アラーム起動時刻の「時」を設定します。

●「時」ボタンを長押しすると、順次数字が送られます。

●午後の時刻の場合はPM表示ランプが点灯します。

❷ アラーム設定ボタンを押しながら、「分」ボタンを数回押して、アラーム起動時刻の「分」を設定します。

●「分」ボタンを長押しすると、順次数字が送られます。

❸ アラーム音の種類を設定します。

ブザー音にする場合

ラジオを聴いているときは、ラジオ入・切／音量ツマミをカチッと音がするまで上に回して切り、ステップ❹に進んでください。

ラジオにする場合

起動時の放送局を受信し、音量を適切に調節してステップ❹に進んでください。

❹ モード切換スイッチをAUTOに合わせます。

●アラームランプが点灯します。

●ラジオをアラーム音に設定した状態で、モード切換スイッチをAUTOに合わせても音声が引き続き流れる場合は、スヌーズボタンを押すとラジオが切れます。

❺ アラームが鳴ったら

アラーム音を止めるには、以下のいずれかの操作を行ってください。

●アラーム設定ボタンを押す

アラーム音が止まります。この状態ではアラームランプが点灯しており、翌日の同時刻に再びアラームが起動します。

●背面のモード切換スイッチをOFFにする

アラーム音が止まり、アラームランプが消灯します。アラーム機能も無効になります。ラジオによるアラームの場合は、ラジオ入・切／音量ツマミも「切」にしてください。

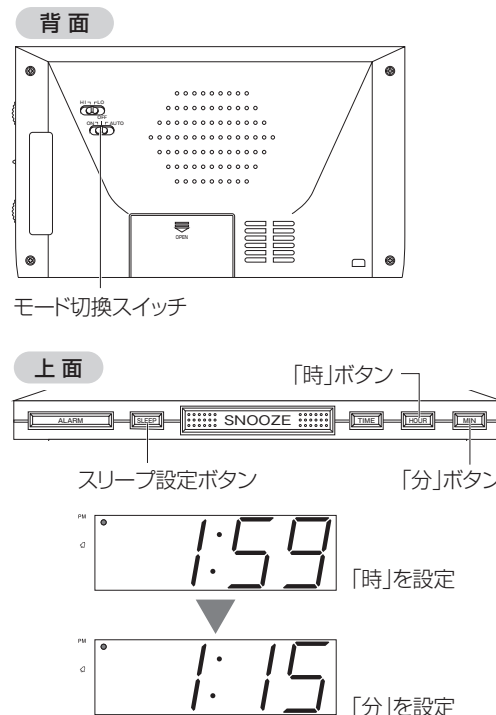
※アラーム起動中に、ラジオ入・切／音量ツマミを「切」にするとブザー音に、「入」にするとラジオに切り換わります。

※ラジオによるアラームを止めた後、そのままモード切換スイッチをONにするとラジオ受信状態になります。

スヌーズボタンについて

アラーム起動中にスヌーズボタンを押すと、約8分間アラーム音が停止し、その後再び流れます。

スリープ機能

背 面

モード切換スイッチ

モード切換スイッチをONにして、ラジオを聴いているときに以下の操作をしてください。

上 面

❶ スリープ設定ボタンを押しながら「時」ボタンまたは「分」ボタンを数回押して、電源オフまでの時間を設定します。

例）1時間15分後にラジオを切るように設定するには、

1.スリープ設定ボタンを押しながら「時」ボタンを押して、「時」表示を「1」にする。

2.スリープ設定ボタンを押しながら「分」ボタンを押して、「分」表示を「15」にする。

●1分から1時間59分の間で設定できます。

●「時」ボタンを押すと「時」表示が「1」になります。「0」に戻すときは、一旦スリープボタンから指を離し、もう一度やり直してください。

●「分」ボタンを押すたびに59分から数字が減っていきます。長押しすると数字が送られます。

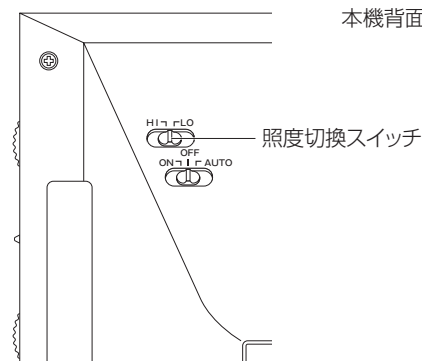
❷ モード切換スイッチをOFFに合わせます。

●スリープ設定が有効になります。

●ラジオは引き続き受信します。

設定した時間が経過すると、ラジオがオフになります。このときモード切換スイッチをONにすると、再度受信します。

ディスプレイの明るさ調節

本機背面の照度切換スイッチでディスプレイの明るさを調節できます。

故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
電源が入らない	●電源プラグが外れて（ゆるんで）いませんか。
時計が点滅する	●現在の時刻が未設定です。P.5を参照して設定してください。
ラジオの音が出ない	●モード切換スイッチがOFFになっていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。
アラームが機能しない	●起動時刻を正しく設定しましたか。 ●モード切換スイッチをAUTOにしましたか。 ●音量が最小になっていませんか。
スリープが機能しない	●ラジオを切るまでの時間を正しく設定しましたか。 ●モード切換スイッチをOFFにしましたか。
ラジオに雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。

お手入れのしかた

※お手入れの際は、安全のため電源プラグを家庭用コンセントから抜いてください。

●キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
●電源プラグにほこりがたまると、発火する危険があります。電源プラグを家庭用コンセントから抜いて時々清掃してください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

主な仕様

電　　源	AC100V　50／60Hz　　時計バックアップ用：DC9V（006P乾電池×1個　別売）
定格消費電力	4W
スピーカー	口径57mm×1（インピーダンス8Ω）
実用最大出力	0.5W
ラジオ周波数	AM：530〜1605kHz　　FM：76〜108MHz
アンテナ	AM：内蔵フェライトバーアンテナ　　FM：ワイヤーアンテナ
時計精度	±45秒／月
外形寸法	幅230×高さ135×奥行82mm（突起物含まず）
質　　量	約650g（時計バックアップ用乾電池含まず）
付属品	取扱説明書（保証書）

※本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。また本書で使用する図版は、実際の機種と一部外観が異なっている場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。